

経営健全化方針に基づく取組状況（令和4年度）

1. 第三セクターの概要

法人名：株式会社ウッドビレジ川場

2. 経営健全化方針を策定した理由

開始当初から計画どおりの売上げが達成できておらず、年々赤字の幅が広がり、融資の返済計画にも支障が生じている状況である。法人設立時以外で負債の補填等の出資はしていないが、毎年応援税制補助金を交付している状況であるため。

3. 財政的リスクの状況

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標達成年度
債務超過額	144,232	110,426	132,423	143,585	令和8年度 0

4. 主な取組状況

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・人件費等を含めた必要経費のスリム化を行い、売上総損失金額の改善を図った。
- ・コロナ禍において、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用し、新規事業取組の設備投資を行った。
- ・縁組協定を締結している世田谷区へ、公共施設（庁舎建て替えや学校施設改修）の営業活動を実施した。
- ・農業部門において、利根沼田農業事務所と連携し、栽培技術向上による生産量・生産額の拡大を図った。
- ・発電機購入先であるスパナー社との一斉メンテナンスを定期的に行い、発電設備のメンテナンス及び効率的運用の技術力向上を図った。

【地方公共団体による財政的リスクへの対処のための対応】

- ・半期毎に、公認会計士との連携によるモニタリングを行った。
- ・川場村木質バイオマス燃料利用促進事業補助金を創設し、バイオマスボイラーに使用するバイオマス燃料（木質チップ）の需要拡大を図った。
- ・令和3年1月に「経営改善計画書」を作成。現状と課題を把握し、アクションプランを作成、進捗管理を行った。

5. 財務状況

(貸借対照表から)

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産合計	198,671	234,414	209,314	330,672
(うち流動資産)	28,183	68,526	49,520	195,436
(うち固定資産)	170,488	165,889	159,794	135,237
負債合計	342,904	344,840	341,736	474,258
(うち長期借入金)	331,590	331,590	331,074	329,574
純資産合計	△ 144,232	△ 110,426	△ 132,423	△ 143,585

(損益計算書から)

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高	58,966	65,214	84,184	182,979
売上原価	95,885	96,513	107,318	195,368
売上げ総利益	△ 36,918	△ 31,299	△ 23,133	△ 12,389
販売費及び一般管理費	6,223	11,723	7,472	7,781
特別利益	5,000	52,500	10,000	10,631
当期純利益	△ 39,873	33,807	△ 21,997	△ 11,162